

◆夢を育み 明日が待たれる 魅力ある学校づくり◆

北教だより

茨城県県北教育事務所

令和4年7月20日(水)

第5号

電話 0294-34-0774

FAX 0294-32-0006

E-mail hokukyo@pref.ibaraki.lg.jp

令和4年度英語プレゼンテーションフォーラム県北地区大会を開催

7月12日(火)に英語プレゼンテーションフォーラム県北地区大会を開催しました。このプレゼンテーションフォーラムは、英語で自分の意見を発信し、他者と協働しながら課題を解決することができる人財を育成するため、以前に行われていたインタラクティブフォーラムに代わる新たな事業として昨年度より始まりました。

今年度は「県内に住む外国人の方々に、茨城の魅力をもっとよく知ってもらうために、私たちがいばらき観光大使として『いばらきマイクロリズム』を伝えよう!」をテーマに、各校の代表生徒たちが素晴らしい発表(プレゼンテーション)をしました。

開会行事では、県北教育事務所長から生徒の皆さんへ、英語によるスピーチとともに、「英語は使って覚えるもの。英語が必須となる世の中がもう来ている。この大会出場をきっかけに、英語を楽しんで身に付けてもらいたい。」とメッセージとエールが送られました。

参加生徒は発表者側と聞き手側に分かれ、発表者側からの5分間の英語によるプレゼンテーションの後、聞き手側のチームとの英語での発表内容に関するやり取りを行い、そのパフォーマンスが審査されました。どの学校も工夫を凝らした発表で、内容に関する即興での質疑応答もすばらしいものでした。発表前の緊張した表情と発表後の達成感に溢れた清々しい表情が印象的でした。

なお、県北教育事務所長賞を受賞された以下の4校は県大会(8/30)に出場することとなります。



各校が茨城県の魅力を
全力でプレゼンテーション

県北教育事務所長賞受賞校(県大会へ出場) ※写真は順不同



日立市立
助川中学校



常陸太田市立
瑞竜中学校



高萩市立
高萩中学校



日立第一高等学校
附属中学校

閉会行事では、2人の審査員から「英語を身に付けることで多くの人と繋がり、自分の視野も広がる。英語は自分の可能性を広げるパスポートである。ぜひ、これからも英語を学び続けてほしい。」また、「"What is your name?" のような簡単な英語を話していた頃を覚えていますか。その頃と比べて生徒同士であれだけのやり取りができるようになった皆さんの英語はとても上達している。これまで学び続けてきたことを誇りに思ってもらいたい。」との講評が述べられました。



表彰式の様子

プレゼンテーションフォーラムを活かし、さらなる授業改善へ

プレゼンテーションフォーラムは単なる大会ではなく、発表(Production)とやり取り(Interaction)を含む言語活動になっています。ぜひ、日ごろの授業でもプレゼンテーションフォーラムの形式を活かし、言語活動を中心とした外国語の授業を展開していただきたいと思えます。指導された先生方の多くは、やり取りの難しさを挙げられていました。暗記が中心となるプレゼンテーションと違い、即興でやり取りする力は、日々の授業における Small Talk をはじめとする言語活動の中で培われるものです。

大会に向けて、ご指導いただきました先生方に、心より感謝申し上げます。